

## 令和6年度第2回行政評価市民会議

日 時：令和6年8月22日（木）18時00分～19時30分

場 所：鹿角市役所 第5会議室

出席委員：8名中4名

出席職員：〔政策企画課〕

課長、主幹兼室長、主査、主査、

主任、主事

### 1 開会（進行：政策企画課）

ただいまから、令和6年度第2回行政評価市民会議を開会いたします。なお、市民会議の開催は、委員の過半数が出席しなければ開催できないこととなっておりますが、急遽の欠席の方もあり、本日の会議は出席定数に満たなくなりました。再度日程を調整し、改めて開催すべきところでありますが、来年の市議会議員選挙を控え、市の日程も過密となっており、いとまがないのが現状です。

つきましては、本日の会議開催をご了承いただきますとともに、欠席した委員にはご意見がある場合は意見提出シートにていただくよう会長と協議しました。また、会長代理は事務局の政策企画課長が行います。

### 2 政策企画課長挨拶

今回は第7次総合計画前期基本計画行政評価結果と鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について説明します。本日の意見を踏まえて実施計画策定方針を調製した上で、来年度の実施計画策定と予算編成に進んでいきますので、忌憚のないご意見をお願いします。

### 3 案件

#### (1) 第7次総合計画前期基本計画行政評価結果について（資料1）

説明：主査

※政策評価結果・取組方針評価結果に対する政策アドバイザーの意見

・基本戦略2「元気で健やかな暮らしを支える」については、取組方針4については、高齢化等により死亡率は上昇したが、受診率や利用回数はほぼ横ばいである。また、医療体制に関する取組方針5については、医師数・看護師数等が大幅に減少したわけではない。C評価からB評価に上方修正してもよい。

・経営戦略2「世界遺産のまちをつくる」については、A評価となっているが、構成する

取組方針がいずれもB評価であり齟齬が見られる。取組方針28については、ガイド件数や来館者数、動画再生回数が目標を大幅に上回ることから、B評価ではなくA評価が妥当である。そうすれば、経営戦略2をA評価とすることと矛盾しない

### 質疑応答

(委員) 全て事実に基づいた評価結果であるため異議ありません。また、政策アドバイザーの意見のとおり、取組方針28「ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます」をA評価とすることで、経営戦略2「世界遺産のまちをつくる」をA評価とすることと矛盾しないため賛成です。

(委員) 政策評価シート of 目標指数の推移について、R4・5年度実績の記載がない指標がありますが、正しい評価のために最新の情報があるとよいです。

出生数に対する市の方向性を確認したいのですが、女性が社会で活躍する潮流の中で子どもを産み育てることが容易ではない時代です。婚姻率や出生数が低い中、指標に第2子以降の出生割合を掲げていますが、市内に住んでいる女性にのみ期待や負担を求めるのはいかがだと思います。また、里親制度の普及に向けた啓発活動など、地域住民への理解促進を図ってはどうでしょうか。

省エネ家電購入支援補助金の2回目の募集はどのように周知しましたか。事業所等へも周知することで社員へ情報を伝えることも可能です。

基本戦略4「暮らしの安全・安心を高める」について、防災ラジオの配付は順調に数を伸ばしているとのことですが、貸与を受けても受信ができず聴取できない地域もあるため、受信地域の点検を行ってほしいです。

なお、評価結果については妥当です。

(事務局) 統計指標についてはタイムラグがある場合もあり、例えば市内総生産は2年遅れで公表されるため、R3実績で判断せざるを得ないことから、取組の進捗状況は前年度の比較を行いながら評価しています。

里親制度の推進については、新しいご提案のため庁内で検討していきます。

委員ご指摘のとおり、出生数の減少は、若者、特に女性の減少が大きく影響していると捉えています。このため、市の方向性としては、一度転出した若者が戻ってきたいと思える環境づくりに取り組み、その上で、結婚したいと考えている男女を応援し、婚姻数を増やすほか、子どもを望む方が安心して産み育てることができるよう支援し、出生数の増加を目指していきます。

省エネ補助金の周知については、1回目に応募者多数だったため、エアコンと冷蔵庫を両方申請し片方落選した方や、当選したが補助金を活用しなかった方を中心に周知したと聞いています。

防災ラジオの配付が伸びている要因は、自治会単位で高齢者にお渡ししているため、高齢者には安心して使っていただいています。ラジオの受信状況については、今後確認を行っていきます。

(委員) 関係人口や関わりしろ等、多くの方が市外から来ていますが、受入を特定の企業・団体のみが対応している状況にあります。今後も関係が継続できるよう市全体で受入態勢の強化を図ってほし

いです。ワデュケーション誘致の取組みを継続し、デジタル技術など関係人口になった方々の強みを市の課題解決に活用してほしいです。NTT 東日本によると、熊の出没エリアや個体数をデジタルの活用で把握できるのではないかとのことでしたので、安全面が強化できると思います。

(事務局) 今年度、「かづコトアカデミー」を開催し、鹿角市に興味関心のある首都圏在住の若者や鹿角市在住の若者を対象に、地域を盛り上げる人材の育成講座を行います。この取組みで人材を発掘し、関係人口の受入に協力してくれる方を増やしていくことでネットワーク作りにつなげたいと考えています。

(委員) 補助制度などの市の取組みが一部にしか伝わっていないと感じます。行政サービスを市民に対して公平かつ誤解がないよう届けてほしいです。

(事務局) 市の取組みが市民に届いていないことが評価の低さにつながっている側面もありますので、公平に情報が届くよう情報発信を強化していきます。

(委員) 基本戦略2「元気で健やかな暮らしを支える」については、政策アドバイザーは客観的に評価してくださりB評価へ上方修正してよいとの判断ですが、出生数や医師数はこのままでよいというわけではないので、C評価のままでよいと思います。また、取組方針28「ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます」をA評価とすることには賛成ですが、現状でA評価のためこれからは過剰にコストをかけず、喫緊の課題に対し優先的に予算を配分してほしいです。

(事務局) 取組方針28「ヘリテージ・ツーリズムに取り組みます」はB評価からA評価とし、その他は内部評価どおりとしてよいでしょうか。

(各委員) 異議ありません。

## (2) 第2期鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価について(資料2)

説明：五日市主査

### 質疑応答

(委員) ファミリー・サポートセンターの登録者数が増えているのに市民の満足度が下がっているのはなぜでしょうか。

(事務局) 新たに「鹿角市子ども計画」の策定を進めており、子ども・若者の意識行動に関する調査を実施しておりますので、その結果を踏まえて詳細に分析する予定です。推測になりますが、市民アンケート等をみますと、満足度の低下については、未就学児を対象とした子育て支援に加えて、児童や生徒への子育て支援の強化を求める声が増えており、このことが低下の一因と考えられます。

(委員) 未就学児を持つ子育て世帯は金銭面では恵まれていると思いますが、就学後児童を持つ世帯については、学校統合や運動部活動のスポーツ少年団移行に伴い、部活動の送迎が負担になっているため、支援を求める声につながっていると思います。

(委員) 部活動に入っている子の保護者からは、特に送迎が大変だという声をよく聞きます。保護者にとっては、土日休みの企業に転職するなど仕事を選ぶ基準になり兼ねないほど家庭内では大きな問題です。練習試合においては、秋田県内の中央地区や県南地区への移動は時間がかかるため、八戸市など旧南部藩の地域や、盛岡市や弘前市など車で1時間圏内の地域など、鹿角市だからこそできる交流が持てるとよいと思います。

(委員) 子どもが成人している世帯では、送迎など今の子育て世帯の大変さを体験していない方もいます。必要ではあるものの、行政が支援することに対して多数の市民から理解を得られるかという点、一概には言えないかもしれません。

(事務局) 市民の考え方は多様であり年代によっても異なるため、より多くの市民ニーズに応えられるよう事業を展開していく一方で、鹿角市は若者が少ない現状にありますので、市の未来に向けて若者に対する事業を後期基本計画で考えていきたいと思っています。

(委員) 熊の出没が多いため子どもを外で遊ばせるのが怖いという声をよく聞いています。

(委員) 子ども用の室内遊戯施設があるといいです。

(委員) 熊対策について狩猟免許の取得を促進し、特に若い世代が取得しやすく、猟友会に参加しやすい制度や支援策があればいいと思います。

(事務局) 多くのご意見を頂きましたが、鹿角市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価については、内部評価どおりとしてよいでしょうか。

(各委員) 異議ありません。

#### 4 その他

(委員) 市民アンケートについて、取組方針5「適切な医療を受けられる体制を整えます」の重要度が1位に対して満足度が最下位です。重要度に対する満足度をどのように捉えるか統一の判断基準が定まっていれば、政策アドバイザーからの修正意見も無かったのではないのでしょうか。

(事務局) 政策アドバイザーからのご意見は、本市が置かれている状況を十分に把握された上で、市の取組みを評価いただいたものと捉えています。その上で、順位ではなくスコアを重要視すべきとも言われています。また、市民アンケート報告書の8ページにある重要度と満足度の分析から、改善が求められている10項目を重点施策として位置付け、来年度予算が優先的に配分されるよう調整を進めていきます。

(事務局) 今回の会議で令和5年度の行政評価結果についてご意見を頂きました。本日頂いた意見と欠席した委員の意見を市役所内部で報告し、令和5年度の行政評価結果を決定します。また、その他頂いたご意見を令和7年度当初予算に反映させていきます。次回の会議は2月頃に開催し、頂いたご意見をどのように反映したか報告させていただきますので、引き続きよろしくお願ひします。

#### 5 閉会 (19:30 終了)